

異常検知AIと他のAIソフトウェアとの違い

クリックで拡大（画像クリックで各製品ページが開きます）

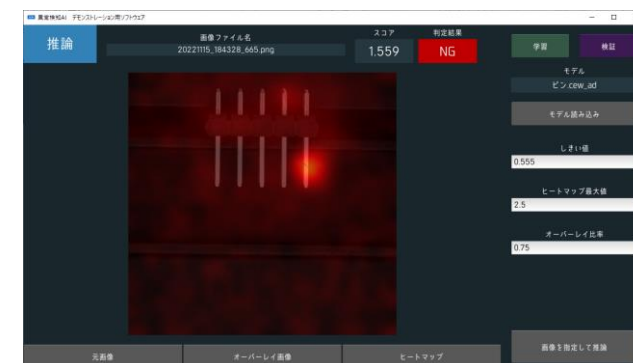
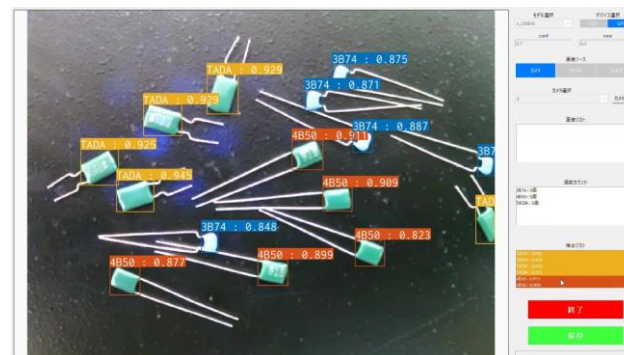
本ページ

画像認識AI

物体検出AI

異常検知AI

画面イメージ



強み

- 不良品の分類が可能
- アノテーションが容易

- 不良品の分類が可能
- 不良品の位置を取得できる
- ワークの数や位置に左右されにくい

- 良品画像のみで学習できる
- ヒートマップの表示が可能

注意点

- 不良品画像が必要
- 構図違いに反応しやすい

- 不良品画像が必要
- アノテーションが大変

- 不良品の分類は不可能
- 複雑な特徴を持つワークは苦手